

きらやか銀行

ミニディスクロージャー誌 2011

平成23年9月期



“「本業支援」には 2つの物語がある。”

株式会社きらやか銀行
代表取締役頭取 栗野 学

—きらやか銀行の行員は、今、何をすべきと考えますか—

当行はCMで流しているように地域の皆様と「共に生きる」を経営方針として掲げていますが、それを「**本業支援**」そして「**最適提案**」という形で、具体的行動として実践することです。特にこの本業支援については何度も言っておりますが、お客さま

から喜んでいただくために行うんです。そこだけを行員にはきちんと理解をしてもらいたいと思いますし、こんなふうになったら最高だなあというストーリー（物語）を行員には話をしています。

—なぜ、今、「本業支援」なのですか—

本業支援には、二つの物語があると思っています。それは「**営業推進**」と「**コンプライアンス**」です。

本業支援を行って、お客さまの事業のお役に立つと感謝され、きらやか銀行の存在感がアップします。

そうすると、法人の取引も増え、従業員の皆さまとの取引も厚くなります。結果、きらやか銀行のファン増加にも繋がっていきます。これはお客さまを中心とした一つの本業支援の物語です。

この物語で、一番大切なことは何か。それはお客さまのお話を聞いて、何をすれば喜んでいただけるか行員自身が理解することです。これがこの物語のスタートです。これをしないと、本業支援は始まらないんです。お客さまのお話を聞いてお客さ

まを理解することは、時間が掛かって、決して効率的な事ではありません。しかし、お客さまの話に耳を傾けること自体が、この本業支援の物語を作る一番肝心な所だと思っています。

もう一つの物語はコンプライアンスです。本業支援をすると、上司と部下等、行内で話をする機会が増えるんです。どういう話をするかというと、「どこに行ってきた?」「何を話してきた?」「こうするといいだろう」というような会話が生まれます。得意先係がお客さまのところに行って、しっかり提案をしてくるとお客さまから喜んでいただき、行員も嬉しく

なる。嬉しくなると、行員自身のモチベーションが上がって、アドバイスしてくれた上司に感謝し、「いい上司に巡り合えて良かった。」と思う訳です。そうすると、上司と部下のコミュニケーションが活発化してくる。そして、コミュニケーションが良くなるとコンプライアンスの力がアップしてくるんです。これがもう一つの物語です。



「お客さまのお話を聞いて、お客さまを理解することが一番大事」

本業支援を中心にして二つの物語が描ける。今、私が「本業支援」と言い続けていますけれども、これを行うことによって、きらやか銀行のポジションというのは、明確になってくるはずですよ。他行とは違う、きらやか銀行の立つ位置を明確にしていきたい、そのように思っています。

業績ハイライト

Kirayaka Bank

主要な経営指標

■連結

(単位：百万円)

	平成22年9月期	平成23年9月期
連結経常収益	13,612	12,718
連結経常利益	916	1,089
連結中間純利益	877	1,121
連結純資産額	50,967	50,053
連結総資産額	1,242,643	1,277,650
1株当たり純資産額	236.38円	229.30円
1株当たり中間純利益	5.42円	7.39円
潜在株式調整後1株当たり中間純利益	2.25円	2.70円
連結自己資本比率（国内基準）	10.39%	9.33%

■単体

(単位：百万円)

	平成22年9月期	平成23年9月期
経常収益	13,214	12,350
経常利益	851	980
中間純利益	825	1,057

- (注) 1. 当行及び連結子会社の消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
 2. 「1株当たり純資産額」、「1株当たり中間純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり中間純利益」の算定に当たっては、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)を適用しております。
 3. 連結自己資本比率（国内基準）は、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

営業の概況

■損益の状況（連結・単体）

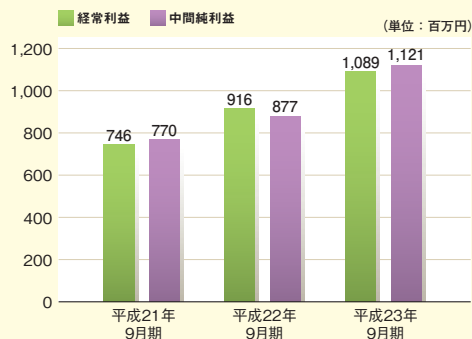
当中間連結会計期間の損益につきましては、連結経常収益は、貸出金利回りの低下による貸出金利息の減少や有価証券売却益の減少等により、前年同期比8億94百万円減少の127億18百万円となりました。

一方、連結経常費用は、預金金利の低下による預金利息の減少や物件費および不良債権処理費用等の減少により、前年同期比10億66百万円減少の116億29百万円となりました。

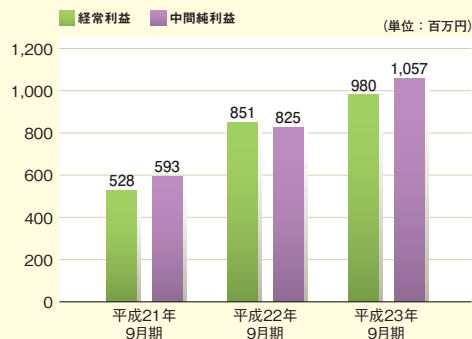
その結果、連結経常利益は、前年同期比1億73百万円増加の10億89百万円となりました。

また、連結中間純利益は、東日本大震災の影響による貸倒引当金に戻入れが発生したこと等から、前年同期比2億44百万円増加の11億21百万円となりました。

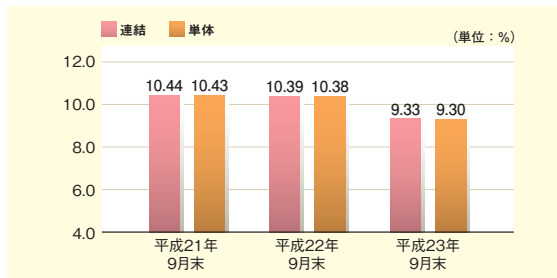
経常利益・中間純利益の状況（連結）



経常利益・中間純利益の状況（単体）

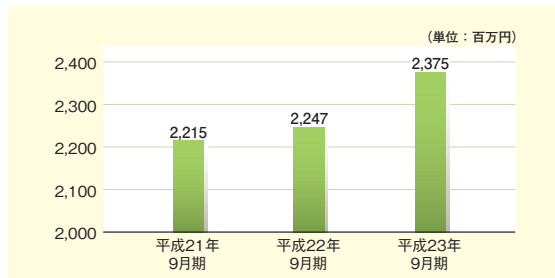


自己資本比率の状況（連結・単体）



単体自己資本比率は中間純利益による自己資本の積み上げを図っておりますが、平成23年3月に劣後特約付社債を期限前償還したことから、前年同期比1.08%低下の9.30%となりました。

コア業務純益の状況（単体）



銀行の本業部分の収益を表すコア業務純益につきましては貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少しましたが、預金利息の減少や物件費削減に努めた結果、前年同期比1億27百万円増加の23億75百万円となりました。

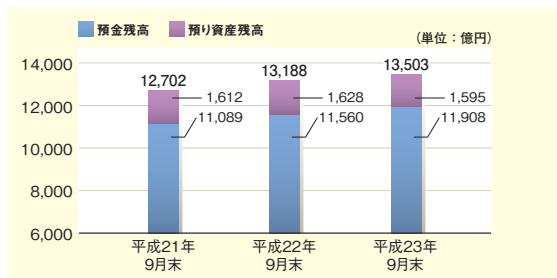
用語解説

- **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益の事を指します。
- **経常利益** 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
- **当期純利益** 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

業績ハイライト（単体）

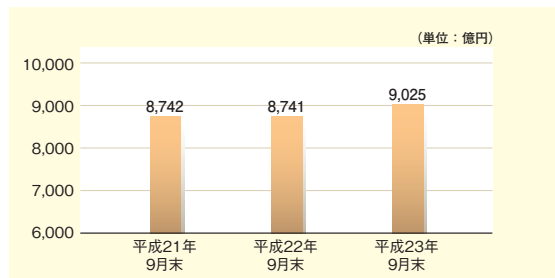
Kirayaka Bank

預金・預かり資産の状況



預金残高は、前年同期比348億円増加の1兆1,908億円となりました。一方、預り資産残高は33億円減少の1,595億円となりました。

貸出金の状況



貸出金残高は、前年同期比284億円増加の9,025億円となりました。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

※連結自己資本比率（国内基準）及び単体自己資本比率（国内基準）、銀行法第14条の2の規定に基づく金融庁告示に定められた算式に基づき算出しております。

※預金には譲渡性預金を含みません。

※決算の詳細につきましては、きらやか銀行ホームページ（<http://www.kirayaka.co.jp/>）よりご覧いただけます。

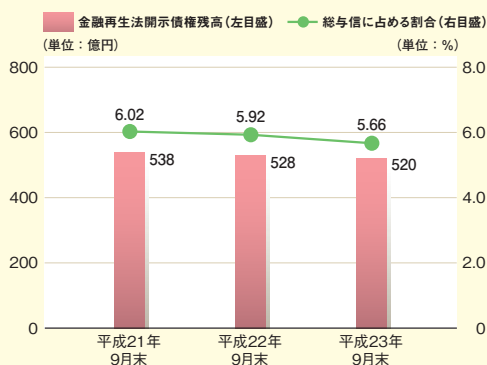
不良債権の状況（単体）

Kirayaka Bank

金融再生法開示債権

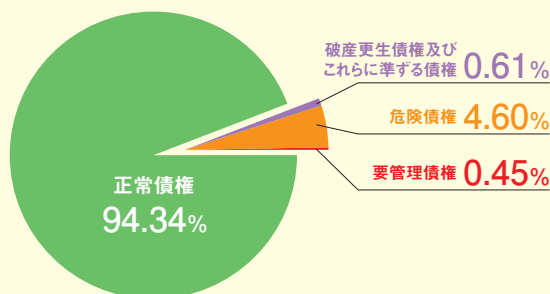
平成23年9月末の金融再生法に基づく開示債権は、前年同期比8億38百万円減少し、520億14百万円となりました。これらの債権の73.12%につきましては、貸倒引当金および担保・保証等により保全されております。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



総与信に占める割合

(平成23年9月末)



保全状況

(単位: 億円)

	債権額 (A)	保全額 (B)	担保保証等	貸倒引当金	保全率 (B / A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	56	56	38	17	100.00%
危険債権	422	315	209	105	74.64%
要管理債権	42	9	4	5	22.11%
合計	520	380	252	128	73.12%

用語解説

- 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
- 危険債権 | 債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
- 要管理債権 | 3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。ただし、構成比については端数を調整して表示しているものを含んでおります。

地域の皆さまと共に

Kirayaka Bank

地域の皆さまとの交流

「地域と共に生きる」～地域行事への参加～

平成23年8月6日、第49回山形花笠まつりが開催され、当行から200名以上の行員が参加いたしました。

仙台銀行との共同参加や女性使用花笠のLEDライト搭載、また野球部のユニフォーム姿での参加など話題満載で山形の夏を彩りました。



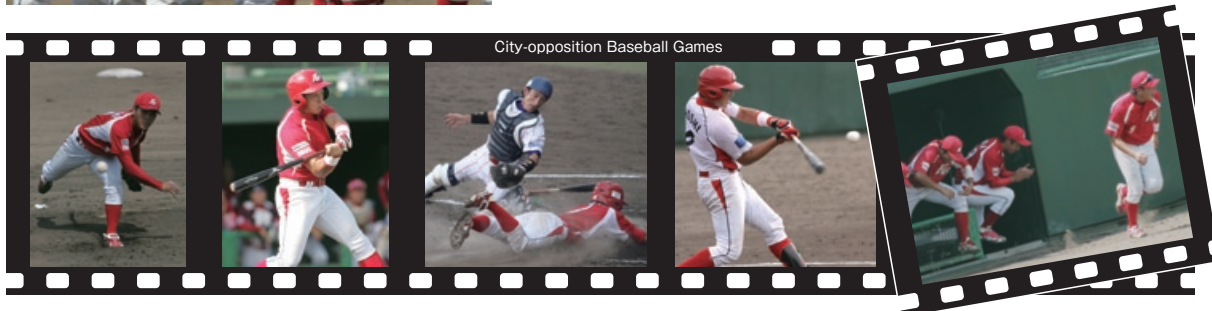
地域のスポーツ振興

「地域と共に生きる」～硬式野球部～

当行野球部は、業務との両立を図りながら精力的に活動しております。

平成23年8月には第82回都市対抗野球東北大会で、代表決定戦に勝ち進み、本大会進出に王手をかけました。大熱戦の末惜敗しましたが、来年の全国大会出場に繋がる試合を展開しました。

また、冬季は小・中・高・大学生を対象とした野球教室を行うなど、地域のスポーツ振興に寄与しております。



本業支援

Kirayaka Bank

VOICE

あなたの想いを一緒に語り合いたい、一緒に形にしたい
私たちができる“本業支援”



本店営業部
菅井 崇広 課長

「商売」は「笑売」

商売とは『商売』=『笑売』笑いを売ること。

お客さまに笑顔になっていただく事、喜んでいただく事が私たちの目指す本業支援であると心掛け、日々の渉外活動に取り組んでいます。

お客さまと商売のお話をさせていただき、当行においてお役に立てる事は何かを真剣に考え、愚直に繰り返し行動し、お客さまに信頼される行員を目指しています。

ベストパートナーを目指して

現在の中小企業にとって必要なのは「お金を御用立てできるだけ」の金融機関ではありません。「中小企業の事業支援ができる金融機関」が本当に頼りになる銀行であると思っています。お客さまとお互いに喜びあう関係を造り、知恵と汗を出す「本業支援」とは当行の理念を実践に落とし込むための自前のシステムであり、これを武器に、「きらやかさんは一緒に得意先を開拓してくれるパートナー」と言われる銀行員を目指しております。

中央営業部
奥山 伸 課長



本業支援

Kirayaka Bank

当行は地域に根ざす金融機関として「共に生きる」をスローガンにお取引先企業の皆さまの事業成長へのお手伝いや課題を共に解決する“本業支援”を行うことで、地域経済への一翼を担っていきたいと考えております。

本業支援に取り組む当行行員の“熱い想い”をご覧ください。



仙台長町支店
押切 和之 代理

お客さまとの繋がりを大切に

「共に生きる」をスローガンにお取引先企業の事業成長へのお手伝いや課題と一緒に解決する事を目標に、日々、渉外活動に取り組んでおります。思い返せば、私が銀行員になろうと思ったきっかけは、人との繋がりをもちながら、何か人の為にお役に立ちたいと思った事でした。その気持ちを大切に、行動に移すことが「本業支援」であると実感します。今後も「本業支援」を通じてお客さまから信頼される行員を目指します。

本業支援は当行一押しの商品

私は、事業に対する想いや悩み、関心などは企業を成長するための原動力である捉え、常にお客さまの立場に立ちよき相談相手となれるように心がけています。

お客さまのニーズをお聴きし、経営課題の解決策を銀行全体でご提案できる本業支援プロジェクトはお客さまより喜んでもらえる当行一押しの商品です。是非、新しい悩みの産声をお聴かせください。

鶴岡中央支店
森谷 充隆 主任



きらやか銀行は、「山形応援」をコンセプトとした商品を発売しております。

ポイントに応じて金利がグリーンとUP！

定期預金の金利アップと、必ずもらえる「湯めぐりチケット」が魅力

[illegible]

※きらやか銀行ホームページにも詳細を掲載しております。

<http://www.kirayaka.co.jp/>

株主の皆さまへ

Kirayaka Bank

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 【公告掲載ホームページアドレス】 http://www.kirayaka.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞および山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

		証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		お取引の証券会社になります	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先			0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店			みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社 本店および全国各支店
			未払配当金のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。
ご注意		未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買は出来ません。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 **0120-288-324**

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成24年の確定申告の添付資料としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成24年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

楽な道でないことは
わかっていた
何度もうあきらめかけた

けれど

ゆずれない想いがあつた

想いは、伝えることで
また、強くなっていく

あなたの想いを

一緒に語り合いたい
一緒に形にしたい

これからも私たちの願いは、
地域の企業の皆さまと
「共に生きる」こと。

プロフィール (平成23年9月30日現在)

本店所在地 山形県山形市旅籠町三丁目2番3号

電話番号 023-631-0001 (代表)

設立年月日 平成19年5月7日

資本金 177億円

預金残高 11,908億円 (譲渡性預金を除く)

貸出金残高 9,025億円

従業員数 1,052名

店舗数 117カ店 (県内99カ店、県外18カ店)

(注1) ブランチ・イン・ブランチ (店舗内店舗) 形式での店舗統合による実質店舗数81カ
店 (県内64カ店、県外17カ店)、インターネット支店を除く。

(注2) 鮎貝支店は平成23年9月30日で通常営業を終了いたしました。(平成23年10月3
日からは荒砥支店とブランチ・イン・ブランチを実施しております)

ホームページ <http://www.kirayaka.co.jp/>

『お客様の声』受付ダイヤル

(受付時間) 平日9:00~17:00

 0120-379-305

 **きらやか銀行**

きらやか銀行 経営企画部
平成23年11月発行

**UD
FONT**

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。